

(4) 旧基本計画に基づく各種事業の把握・分析

平成17年度及び平成18年度の2カ年に渡り、国の中心市街地活性化推進室が実施した「中心市街地活性化支援業務 市町村の中心市街地活性化の取組に対する診断・助言事業」の対象自治体として選定を受けた。この診断及び助言により各種事業の把握・分析を行なう。

【平成17年度・18年度中心市街地活性化支援業務 市町村の中心市街地活性化の取組に対する診断・助言事業】

<地域住民のニーズ等の把握・分析>

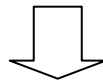
統計データなどから見た中心市街地の強み、弱み

| | 強み | 弱み |
|------------------|---|---|
| 人口 居住 | <ul style="list-style-type: none"> ・民間分譲マンションに買い手がついており、居住地としての人気は高い。 ・高齢者をテーマとする天神町に、高齢者向けケア住宅「安心ハウス」が、H17.9に完成。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地では少子高齢化が進んでいる。 ・敷地や駐車場の問題から郊外に戸建をもって、転居する例が多い。中心市街地での2世帯同居が困難なことから、子世帯が転出する。 |
| 商業 | <ul style="list-style-type: none"> ・百貨店が転入した松江駅前地区は市の玄関口として活性化している。 ・高齢者をターゲットにした天神町商店街が、成功例として注目を集めている。 ・京店商店街の空き店舗に若手経営者が出店し、活性化の兆しが見える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・H10に百貨店が殿町から松江駅前に移転したため、中心市街地の商業中心地であった殿町地区の衰退が急速に進んだ。地区再生のために検討がなされているが、事業は進捗していない。 ・田和山地区と学園地区の2カ所がロードサイド型の商業集積として集客力を高めている。 |
| 都市 インフラ 交通 | <ul style="list-style-type: none"> ・JR松江駅を拠点ターミナルとして、広域アクセスにも強い。松江しんじ湖温泉地区には島根県東部、宍道湖の北岸（松江～出雲大社）を走る一畑電鉄もある。 ・バスの便はよく、殿町地区の中核ターミナルでは1日700本の路線便がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・バスや鉄道の便は良いが、大半の来街者がクルマ利用であり、無料の駐車場施設が圧倒的に少ない。中心市街地は郊外に比べて不利。 |
| 歴史 文化 観光 | <ul style="list-style-type: none"> ・小泉八雲が愛した水都、城下町として知られ、年間450万人の観光客が訪れる。特に、年間30万人以上を集める観光の目玉、堀川めぐりの発着所（全3カ所）が中心市街地内に2カ所ある。 ・観光拠点であるカラコ口工房が年間30万人の来場者を集め、まちの活性化に寄与。また、殿町地区と武家屋敷エリアを結ぶ観光施設として、歴史資料館の建設計画が進んでいる。 ・天神町では、旅行社とタイアップしたまち歩きツアーを実施して、観光商業として活性化していくための先鞭をつけている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地内には人気の観光資源である堀川めぐり発着所や松江城があり、塩見縄手の武家屋敷なども隣接しているのだが、それらの観光客を中心商店街へと呼び込むしかけやストーリーづくりが欠けている。また、観光商業にスポットを当てた動きも欠けている。 |
| 行政 生活 サービス | <ul style="list-style-type: none"> ・島根県庁をはじめ、県民会館、県立図書館、県立武道館などの県施設、松江市役所、総合福祉センター（温泉施設付き）社会保険センターなどが集積している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・県庁所在地であり、オフィスや官公庁が集中してきたため、業務ゾーンとしての性格が強く、土日・休日は店舗を閉める商店・飲食店が多い。そのあたりに、観光客の取り込みができない要因がある。特に観光資源と隣接している殿町地区には休日営業の飲食店が少なく、せっかくの観光客が取り込めていない。 ・松江市立病院がH17.8に郊外に移転、松江赤十字病院が現地建替の予定。 ・中心市街地には現在学校がひとつもない。 |

| | |
|---------------------|--|
| 環境 治安 福祉 等 | ・少子高齢化が進展してコミュニティの維持も困難になってきた地区がある。伝統行事である鑿(どう)行列の引き手である子供たちが町内に少なくなり、他町からの応援を頼んでいるのが現状。 |
|---------------------|--|

まちかどアンケートから見た中心市街地の強み、弱み

| | 強み | 弱み |
|--------|--|--|
| 来街実態 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用頻度はほとんど毎日が43%と16都市中2番目に高い。 ・クルマが36%、徒歩が34%、自転車が27%。徒歩は16都市中トップ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・買物目的が38%で16都市平均より16%低く、通勤通学は19%と16都市中トップ。商業地というよりは、オフィス官公庁街としての性格が強いまち(殿町地区)といえる。 ・1km未満が25%、1~3km未満が36%で過半数を占める。10km以上は20%にとどまっており、突出した広域集客力は見えない。 |
| 印象評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史や文化がある(87%)、街並み・景観が美しい(80%)、ゴミが少なくきれい(77%)、治安がよく安全(75%)などの評価が高い。 ・中心市街地はまちの顔であるは32%と他都市平均並みだが、このまちに住みたいは70%とトップクラスの高評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・最も評価が低いのは、夜の賑わいがあるの8%。 |
| 活性化の評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画の認知率は22%で、他都市とほぼ同率。 ・活性化した+活性化の兆しが見える33%は、他都市平均とほぼ同率。 | <ul style="list-style-type: none"> ・TMO認知率は8%で、16都市平均より低い。 ・まちづくりに積極的24%は、16都市平均より4%低い。 ・中心市街地の利用が増えたは7%で、他都市平均より低い。 |
| 通行量 | <ul style="list-style-type: none"> ・平日の通行量は同格都市より80%、16都市平均77%多い。 ・男女比は、男性44%、女性56%となっており、同格都市とほぼ同率。 ・年齢層別に見ると、同格都市とほぼ似通った比率だが、20・30代の若者層が数%多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・土曜日の通行量は同格都市より87%多いが、16都市平均では38%と平日より小幅増にとどまっており、休日に人を集めるハレの日型のまちとしての性格は弱い。 ・16都市平均と比べた男女比は、消費の主役である女性が4%少ない。 ・年齢層別に見ると、60才以上の高齢者の割合が、16都市平均よりも11%多い。 |



【街づくりニーズ】

中心市街地来街者の街づくりニーズは、16都市平均とほぼ同レベルで、大きな差異はない。郊外来街者のニーズとして16都市平均を大きく上回っているのは「街並みや景観が美しいまち(47.1%)」。観光都市にふさわしい、松江のシンボルゾーンを形成してほしいというニーズが潜在していると考えられる。

[街づくりニーズ]

中心市街地来街者で高いニーズ

- 駐車場の無料サービスの実施(38.0%)
- 魅力的なイベントや催事の実施(27.5%)
- まち歩きマップやお店紹介などの情報提供(23.0%)

商店街の営業時間の延長や統一(22.0%)
高齢者の支援サービス(21.4%)
郊外来街者で高いニーズ
高齢者や身障者に対しての福祉の充実(51.9%)
街並みや景観が美しいまち(47.1%)
歩いていて楽しいまち(51.0%)

【施設ニーズ】

施設としてニーズの順位としては、16都市平均とほぼ同じ。%で16都市平均を上回ったのは駐車場だけで、あとはいずれも数値的にニーズは低い。

[施設ニーズ]

買い物施設(39%)
駐車場(26%)
飲食施設(19%)
レジャー・娯楽施設(15%)
アメニティ施設(14%)

【サービス・ソフトニーズ】

サービス・ソフトニーズの順位は、16都市平均ほぼ同じ。駐車場の無料サービスが、16都市より6%高い。

[サービス・ソフトニーズ]

駐車場の無料サービス(38%)
魅力的なイベントや催事の実施(28%)
まち歩きマップやお店紹介(23%)

まちかどアンケート調査(平成17年度)の実施概要

1. 中心市街地来街者アンケート調査

(1) 調査実施日時

・平成17年9月16日(金)、9月17日(土)
各日午前10時~午後7時

(2) 調査地点

・山陰中央ビル前(殿町)、今井書店前(殿町)、京店商店街(末次本町)

(3) 調査対象者・サンプル数

・20歳以上の男女 計313人

2. 郊外拠点来街者アンケート調査

(1) 調査実施日時

・平成17年9月16日(金)、9月17日(土)
各日午前10時~午後7時

(2) 調査地点

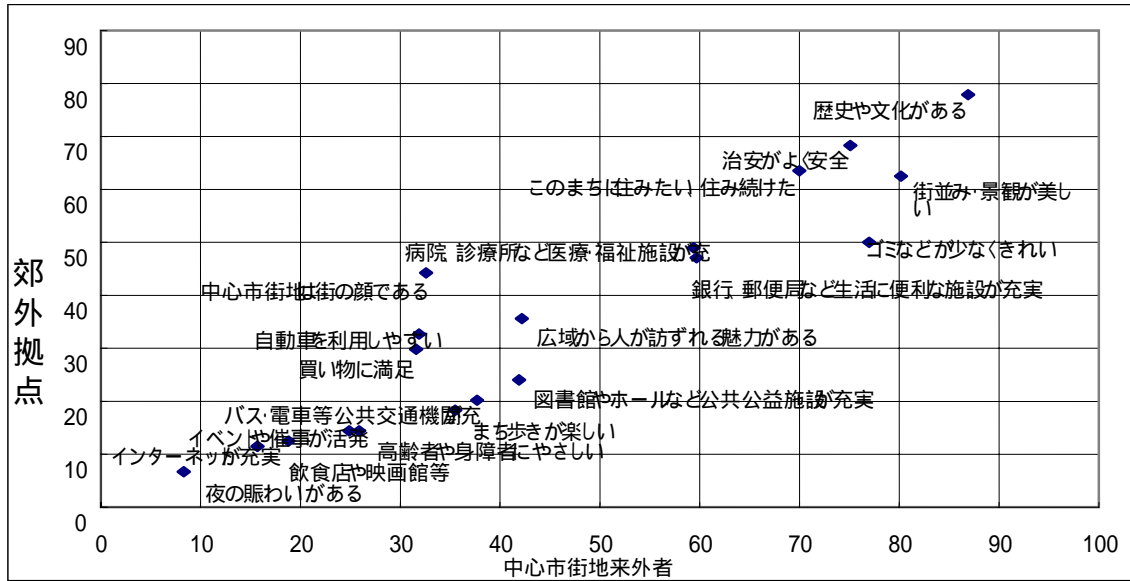
・今井書店グループセンター店前(田和山町)

(3) 調査対象者・サンプル数

・20歳以上の男女 計107人

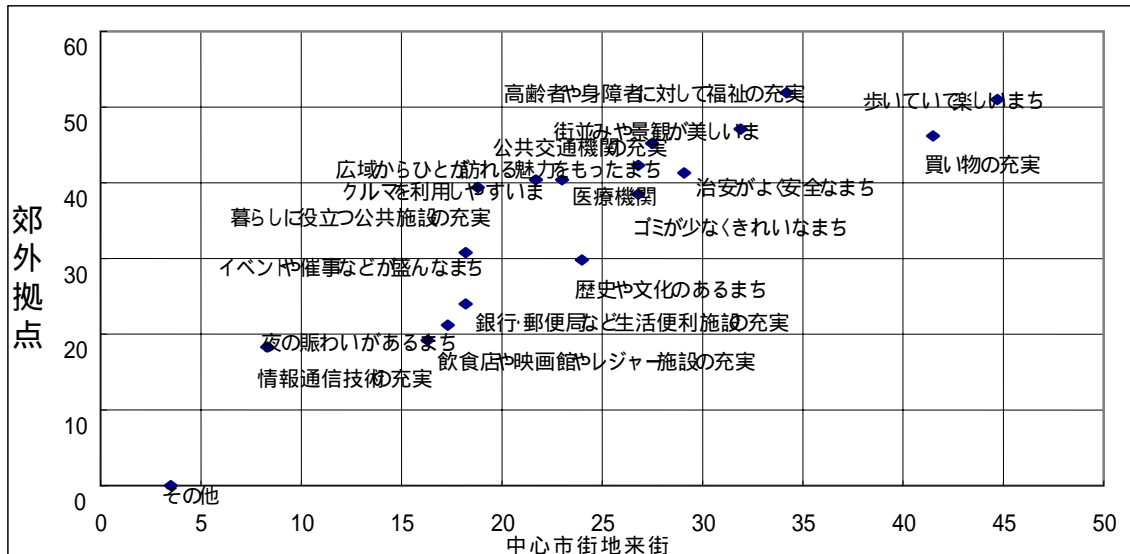
中心市街地の印象

(単位：%)



中心市街地のまちづくりの方向性

(単位：%)



中心市街地の印象としては、歴史や文化、街並みや景観の美しさに関する項目が中心市街地来街者、郊外拠点来街者に共通して高く、また、このまちに住みたい、住み続けたいとする項目も同様に高い。一方、夜の賑わいや、レジャー施設の充実度に関する項目は、両者共に低かった。

中心市街地のまちづくりの方向性としては、歩いて楽しいまち、買物に満足できるまちへの期待が、両者に共通して高い項目であった。人にやさしい・福祉が充実していることへのニーズは郊外拠点来街者で最も高かった。

全体的に、中心市街地来街者よりも郊外拠点来街者が、各項目でまちづくりに対するニーズは強い傾向にある。

中心市街地活性化の取組内容

| 項目 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---------------------|---|-------|-----|-----|-----|-------|----|----|-------|-------|---|---|-----|-----|---|---|------|----|----|----|
| 計画策定 | 策定経緯 (現状分析等) | <ul style="list-style-type: none"> 基本計画策定時に、市民に対するアンケート調査やヒアリングを実施して、まちづくりの方向性を探った。 報道発表等で積極的に広報したが、十分浸透していない可能性はある。まちかどアンケート調査では、基本計画認知率は22%。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総合計画・都市マスタープランとの整合性 | <ul style="list-style-type: none"> 第五次松江市総合計画(2001~2010)では、施策の大綱のひとつとして「交流をうむ高度で魅力ある都市をつくる」があり、その中で中心市街地整備が重要なテーマとして位置づけられており、整合性はとれている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計画内容 | 目標値の設定 | <ul style="list-style-type: none"> 数値目標は設定していない。まだ行政評価を求められる時代ではなかったため、特に設定はしていなかった。 設定内容：標語による目標を設定している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 目標年度の設定 | <ul style="list-style-type: none"> 基本計画策定時に、目標年度を設定したものとしなかったものがまちまちであり、結果的に35事業中14事業のみ年度設定されている。 市街地整備改善(13/29事業) 商業活性化(0/4事業) その他(1/2事業) 計14/35事業=40% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 区域の設定 | <ul style="list-style-type: none"> 古くから松江市の商業・業務の中心的役割を果たしてきたエリアを一体的に区域設定したが、やや広範囲過ぎ、区域ごとに地域特性や活性化ニーズが異なっている。そのため、個別に対策を練っている。 重点地区として、松江駅前地区、殿町地区、松江しんじ湖温泉地区の3カ所を設定している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 優先課題の設定 | <ul style="list-style-type: none"> 基本計画策定時に、目標年度を設定したものとしなかったものがまちまちであり、結果的に35事業中14事業のみ年度設定されている。 市街地整備改善(13/29事業) 商業活性化(0/4事業) その他(1/2事業) 計14/35事業=40% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 重点事業の設定 | <ul style="list-style-type: none"> 重点的取り組みとして、以下の3地区を設定し、事業に取り組んでいる。 駅前地区：JR松江駅～寺町区域では、都会型交流空間の創出と全世代商業の推進。寺町・天神町・白潟本町区域ではお年寄りにやさしい商業地の定着と波及を展開している。 殿町地区：商業と観光・文化のベストミックスを迫及している。 松江しんじ湖温泉地区：天然温泉活用と湖北の玄関口機能の強化を展開している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事業主体の設定 | <ul style="list-style-type: none"> 35事業中31事業で事業主体を設定=88.5%。 市街地整備(26/29事業) 商業活性化(3/4事業) その他(2/2事業) 県、市、TMO、民間などが事業主体。具体的に実施プログラムが設定されていないものについては未定。 <p>事業主体の設定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業数</th> <th>設定数</th> <th>設定率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地整備</td> <td>29</td> <td>26</td> <td>89.7%</td> </tr> <tr> <td>商業活性化</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>35</td> <td>31</td> <td>88.5%</td> </tr> </tbody> </table> | | 事業数 | 設定数 | 設定率 | 市街地整備 | 29 | 26 | 89.7% | 商業活性化 | 4 | 3 | 75% | その他 | 2 | 2 | 100% | 全体 | 35 | 31 |
| | 事業数 | 設定数 | 設定率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市街地整備 | 29 | 26 | 89.7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 商業活性化 | 4 | 3 | 75% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 2 | 2 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全体 | 35 | 31 | 88.5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 事業の実施状況 | 事業の進捗 | <ul style="list-style-type: none"> ハード整備はある程度計画通り進捗しているが、ソフト戦略は進んでいない。基本計画がハード中心であったこと、ソフト戦略を推進する人材が育っていないことなどが背景としてあげられる。 <p>事業の進捗状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業数</th> <th>事業実施数</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地整備</td> <td>29</td> <td>25</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>商業活性化</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35</td> <td>29</td> <td>83%</td> </tr> </tbody> </table> | | 事業数 | 事業実施数 | 実施率 | 市街地整備 | 29 | 25 | 86% | 商業活性化 | 4 | 2 | 50% | その他 | 2 | 2 | 100% | 合計 | 35 | 29 | 83% |
|---------|--|---|--------------|-----|-----------|------|------------|--------------|----|----------------------|-------|----|----------------------------|---------------|-----|---------------------------|-----------------|------|---------------------|------------|----|-----|
| | | 事業数 | 事業実施数 | 実施率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 市街地整備 | 29 | 25 | 86% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 商業活性化 | 4 | 2 | 50% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 2 | 2 | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 35 | 29 | 83% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業効果の測定 | <ul style="list-style-type: none"> 効果の測定指標は設定していない。 まだ行政評価を求められる時代ではなかったため、特に設定はしていなかったが、基本計画見直しにあたっては、具体的な数値目標を盛り込む予定。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 推進体制 | 組織の状況 | <ul style="list-style-type: none"> 行政、商工会、商業者、観光協会、島根大学を中心とした市民まちづくり団体等が積極的にまちづくりに参画しており、推進体制としては熟度が高い。 <p>組織の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>組織名</th> <th>位置付け・活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>官民連携</td> <td>中心市街地対策協議会</td> <td>計画策定・改訂・検討組織</td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>都市計画部市街地整備課中心市街地活性化係</td> <td>担当部門</td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>中心市街地対策調整会議 中心市街地対策連絡会議</td> <td>基本計画策定時の横断的組織</td> </tr> <tr> <td>商業者</td> <td>島根県商店街振興組合連合会、市内各商店街振興組合等</td> <td>商業活性化、まちづくりの担い手</td> </tr> <tr> <td>市民</td> <td>まちドック、島根大学のまちづくり団体等</td> <td>まちづくりの市民組織</td> </tr> </tbody> </table> | | 組織名 | 位置付け・活動内容 | 官民連携 | 中心市街地対策協議会 | 計画策定・改訂・検討組織 | 行政 | 都市計画部市街地整備課中心市街地活性化係 | 担当部門 | 行政 | 中心市街地対策調整会議 中心市街地対策連絡会議 | 基本計画策定時の横断的組織 | 商業者 | 島根県商店街振興組合連合会、市内各商店街振興組合等 | 商業活性化、まちづくりの担い手 | 市民 | まちドック、島根大学のまちづくり団体等 | まちづくりの市民組織 | | |
| | | 組織名 | 位置付け・活動内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 官民連携 | 中心市街地対策協議会 | 計画策定・改訂・検討組織 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 行政 | 都市計画部市街地整備課中心市街地活性化係 | 担当部門 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 行政 | 中心市街地対策調整会議 中心市街地対策連絡会議 | 基本計画策定時の横断的組織 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 商業者 | 島根県商店街振興組合連合会、市内各商店街振興組合等 | 商業活性化、まちづくりの担い手 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市民 | まちドック、島根大学のまちづくり団体等 | まちづくりの市民組織 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| TMOの状況 | <p>名称：TMO 松江 認定：H11年3月 組織体制</p> <ul style="list-style-type: none"> 松江商工会議所の商工業担当職員（2名）がTMO業務を兼務。市が事業を委託する形で助成している。 <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> カラコロ工房の企画・運営、大型空き店舗対策、こだわり市場の企画・運営、イベント実施などを行っている。行政とは連絡調整をしながら事業展開している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

事業の実施状況

1. 市街地整備改善事業（策定事業数：29事業 実施事業数：25事業）

| | 事業名 | 事業期間・実施主体 | | 概要 |
|-----------|---------------|-----------|--------|---|
| 完了・着手 | 住宅供給促進事業 | H14～ | 民間 | <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路整備に併せ、住宅を上積みした共同建て替え ・生活道路整備やポケットパークなどの整備、街並み形成 ・都市計画道路袖師大手前線の整備に併せ、公園を再整備 ・多在する空き店舗を解消、商業のみならず多機能の活用を図る ・当該商店街にふさわしい街路灯の整備 ・駅前付近の歩行環境を改善 ・JR松江駅から宍道湖に至る街路の拡幅整備、都市軸形成 ・白潟公園再整備事業に合わせ、公園横の整備を図る ・JR松江駅周辺の鉄道による長区間分断を解消し周辺を開発 ・旧百貨店本館南側再開発。低層階を商業業務床、上層階を住宅 ・内循環線を形成する同路線の整備を進める ・内循環線を形成する同路線の整備を進める ・同路線の歩行環境を中心とした改善を図る ・バス、タクシー乗降場、駐輪場などを整備し交通結節点機能充実 |
| | A 天神町共同建て替え事業 | H7 - H20 | 松江市、民間 | |
| | 住環境改善事業 | | | |
| | A 寺町地区街なみ環境整備 | H12 - 14 | 松江市 | |
| | 都市公園整備事業 | | TMO、民間 | |
| | A 白潟公園再整備事業 | H14～ | | |
| | 空き店舗活用事業 | H14 | 松江市 | |
| | まち明かり推進事業 | | 島根県 | |
| | 天神町商店街街路灯整備 | H8 - | | |
| | 幹線道路整備事業 | H14 | 島根県 | |
| | 松江停車場線整備事業 | | | |
| | 幹線道路整備事業 | H5 - 17 | 松江市 | |
| | 松江停車場白潟線整備 | | | |
| | 市道整備事業 | H14 | 松江市 | |
| | 松江停車場灘町線整備事業 | H12 - 16 | 組合 | |
| | 市道整備事業 | | 島根県 | |
| | 鉄道南沿線整備事業 | H15 - 19 | 島根県 | |
| | 住宅供給促進事業 | | | |
| | B 市街地再開発事業 | | | |
| | 幹線道路整備事業 | | | |
| | 袖師大手前線整備事業 | H7 - 22 | 松江市 | |
| | 幹線道路整備事業 | | | |
| | 城山北公園線整備事業 | H14～ | 松江市 | |
| | 市道整備事業 | | | |
| | 県民会館東線整備事業 | H13 - 15 | | |
| 交通結節点整備事業 | | | | |
| 電鉄松江温泉駅周辺 | H14 - 16 | | | |

| | | | | | |
|-------------|--------------|-------|---------|-----|--|
| 未着手 | 住宅供給促進事業 | 未定 | 民間 | 島根県 | <ul style="list-style-type: none"> ・城山北公園線整備に併せ、住宅・店舗一体型共同建替えを推進 ・城山北公園線整備に併せ、住宅・店舗一体型共同建替えを推進 ・北殿町の堀側街区の道路、町並みの環境を整える ・北殿町の堀側に、塩見縄手に引き続く町並みを再生する ・同地区での行止り路地の解消やポケットパークなど住環境改善 ・同地区での行止り路地の解消やポケットパークなど住環境改善 ・大手前広場を松江城のエントランスにふさわしく再整備 ・一畑百貨店駐車場跡、イベント等が開催できる広場を整備 ・旧百貨店跡施設を地域に必要な機能の配置場所として再利用 ・同路線の歩行環境を中心とした改善を図る ・殿町再生の新たな拠点施設で駐車場を中心とした複合施設を整備 ・同バス停を、島根半島、観光地のハブバス停に改良整備 ・温泉を利用した施設を配置し、より魅力を高めていく ・四十間堀川に松江堀川遊覧船が寄港できる施設と親水空間を整備 ・遊休地、施設を温泉地にふさわしく活用 |
| | 北殿町共同建替え事業 | 未定 | 民間 | | |
| | 住宅供給促進事業 | 未定 | 松江市 | | |
| | 南殿町共同建替え事業 | 未定 | 民間 | | |
| | 住環境改善事業 | 未定 | 松江市 | | |
| | 北殿町街なみ環境整備事業 | 未定 | 松江市 | | |
| | 住環境改善事業 | 未定 | 未定 | | |
| | 歴史的町並み再生事業 | 未定 | 未定 | | |
| | 住環境改善事業 | 未定 | 松江市 | | |
| | 南殿西居住環境改善事業 | 未定 | 未定 | | |
| | 住環境改善事業 | 未定 | 未定 | | |
| | 南殿東居住環境改善事業 | 未定 | 松江市 | | |
| | 広場整備事業 | 未定 | 松江市、島根県 | | |
| | 大手前広場再整備事業 | 未定 | 民間 | | |
| | 広場整備事業 | 未定 | | | |
| | 活性化広場公園整備事業 | 未定 | | | |
| | 空き店舗活用事業 | H17 - | | | |
| | 空き店舗活用事業 | 19 | | | |
| | 市道整備事業 | | | | |
| | 米子殿町線整備事業 | | | | |
| 駐車場・駐輪場整備事業 | 未定 | | | | |
| 殿町再生核施設整備 | 未定 | | | | |
| バス停留所整備事業 | 未定 | | | | |
| 県民会館前バス停整備 | | | | | |
| 都市公園整備事業 | H15 ~ | | | | |
| 千鳥南公園改良事業 | | | | | |
| 新交通システム整備事業 | 未定 | | | | |
| 親水交流施設整備 | | | | | |
| 商業地の特色づくり | H14 ~ | | | | |
| 遊休地活用事業 | | | | | |

2. 商業活性化事業（策定事業数：4事業 実施事業数2事業）

| | 事業名 | 事業期間・実施主体 | 概要 |
|-------|---|------------------------|----------------------------|
| 完了・着手 | 新商業地開発事業 教育・学習機能導入・充実事業 商業地の特色づくり事業 | H9-H15 H14~ H12~ | TMO、民間 民間、松江市 TMO、民間 |
| 未着手 | 生活支援商業推進事業 | | |

3. その他の事業（策定事業数：事業2 実施事業数2事業）

| | 事業名 | 事業期間・実施主体 | 概要 |
|-------|--|-----------------|------------|
| 完了・着手 | 都市情報システム整備事業 観光・文化機能導入充実事業 (歴史資料館) | H12-H15 H14~ | 松江市 松江市 |